

民主主義の学校
づくりをめざして

市民活動の活性化に向け 意見交換会～その可能性を語り合おう

特定非営利活動促進法(NPO法)が施行されて20年が経過しました。この間、市民活動やNPOの社会的認知は確かに進みました。しかしながら、市民活動の持ち味である先見性・先駆性、新たな価値の創造に挑戦するベンチャー精神、あるいは市民活動団体どうしの連携・協働力が弱まってきているのではないのでしょうか。

あらためて少子・高齢社会における、あるいは市民がリスクや負担を覚悟しなければならない縮減社会における市民活動の社会的使命や意義を再確認する必要があります。

市民活動の担い手を地域の民主主義の担い手として位置付ける市民参画・協働促進プロジェクトでは、意見交換会を、「我が国の市民活動やNPOの現状を理解し、課題を共有する場」「これからの社会に必要とされる先駆的な取り組みを学ぶ場」「市民活動やNPOの可能性を語り合う場」にしたいと思っています。

市民、NPO、市民活動団体、自治会等の地域活動団体、行政職員、議員など、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日時 2019年8月17日(土) 午後1時30分～4時

会場 奈良市ボランティアインフォメーションセンター会議室

JR奈良駅西口下車南すぐ、はぐくみセンター1階 TEL0742-93-8435

定員 / 50名(申し込みは不要。先着順です。) 参加費 / 500円

「市民活動の活性化に向けて」

吉田建治さん(認定特定非営利活動法人日本NPOセンター事務局長)



主催・お問合せ / 市民参画・協働促進プロジェクト事務局
ローカル・ガバナンス研究所

TEL 090-6673-3452 FAX 0742-61-8859
Email ma34vd35ml@kcn.jp

吉田建治さんのプロフィール

大学在学中に奈良の古い街並みを保存するNPOに参加。NPOが主体となった地域づくりに興味を持つ。2001年より大阪ボランティア協会職員、2004年より日本NPOセンター職員。NPO向けの情報化支援担当、市民セクター全国会議をはじめとする研修事業、児童館とNPOをつなぐ「子どものための児童館とNPOの協働事業」、NPO関連法税制改正、災害支援などを担当。2017年より現職。

市民参画・協働促進プロジェクトは、地方自治の現場フィールドに民主主義の学校づくりをめざしています。市民活動・市民参画・協働・地域自治などの担い手、すなわち地域の民主主義の担い手を養成するための市民学習のあり方・学習内容・学習プログラムなどを3年間にわたり検討し、その推進体制づくりをめざします。